

# 全員協議会会議録

- 1 日 時 令和5年12月11日(月) 14時19分開会 14時29分閉会
- 2 場 所 第2委員会室
- 3 出席議員 山本奈央・田村幸紀・只野敏彦・川上 均・中河つる子・鈴木孝寿・  
橋本晃明・桜井崇裕(欠席)・佐藤幸一(欠席)・西山輝和・中島里司・  
深沼達生・  
議長：山下清美
- 4 事務局 事務局長：大尾 智、次長兼総務係長：川口二郎
- 5 議 件
  - (1) 意見書案の協議について
    - ①選択的夫婦別性制度の議論の活性化を求める意見書(案)
    - ②パンデミック条約締結及び国際保健規則改正に係る情報開示等を求める意見書(案)
  - (2) その他
- 8 会 議 録 別紙のとおり

【開会 14:19】

(1) 意見書案の協議について

- ① 選択的夫婦別性制度の議論の活性化を求める意見書(案)
- ② パンデミック条約締結及び国際保健規則改正に係る情報開示等を求める意見書(案)

山下議長：只今より全員協議会を開催する。議件については意見書案の協議である、選択的夫婦別性制度の議論の活性化を求める意見書、パンデミック条約締結及び国際保健規則改正に係る情報開示等を求める意見書の二件である。事務局から説明願う。

事務局長(大尾 智)：配布している案のとおりであるが、所管委員長の川上議員から説明をお願いします。

川上議員：選択的夫婦別性制度の議論に関する意見書であるが、提出された意見書の中で、厚生文教常任委員会の中で、文言として1点だけだが、三行目、余儀なくされることの次に、等を加えて意見書として提案させていただく。これは、余儀なくされることに断定するわけではなく、その他にも様々な理由もあるということで、等を加えるということなので、皆様のご理解をいただきたいと思う。続けてパンデミック条約の関係の意見書である、これについては当初提案の中で表現について、ですます調になっている、意見書について基本的には、である、する、という形で今まで提出しているので、そういう部分では意見書の方を修正して、です、ますの部分、である、するに修正することを確認いただきたいと思うのでよろしく願います。

山下議長：2件あるので、休憩して確認いただいて議論をさせていただきたいと思う。暫時休憩する。

【休憩 14:22】

【再開 14:24】

山下議長：休憩前に引き続き会議を開く。最初に選択的夫婦別性制度の議論の活性化を求める意見書案について協議をしたいと思う。ご意見あるか、特になければこの意見書で提出したいと思う。提出先については、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣としたいと思う。続いて、パンデミック条約締結及び国際保健規則改正に係る情報開示等を求める意見書について協議をしたいと思う。ご意見あるか。なければ、この案件についてもこの文面のとおり意見書を提出することとする。提出先については、内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、外務大臣、厚生労働大臣とする。以上で意見書案の協議を終了させていただく。意見書案については、12月定例会最終日に提案するのでよろしく願います。提案者は委員長になるのでよろしく願います。

(2) その他

山下議長：その他、何かあるか。

川上議員：盗聴器の関係は、その後何か進展があったかどうかだけお聞きしたい。

事務局長：前回、11月30日にご報告した以降、特に何もない。こちらからも警察の方からもコンタクトはしていない。ある程度、警察の方で目途が立てば、こういう形で届出だしてくださいという話になるのかと思っているが、まだ何もないので、報告することは今のところない。

山下議長：補足であるが、物を届けに行った時に、議会の関係もあると思うので、議会終了後あたりという部分では言っていたので、その後警察の方でそれぞれ調べられるのかと推測だけれども思う。

川上議員：これ町の施設なので、町との関係はどうだったか。前回話あったか。私も記憶が定かではないので。本来であれば町が被害届なり出すべきで、町の聴取も必要なのかと思うけれどもいかがか。

山下議長：これも届けたときの話ということで、警察としても、施設としては町で管理しているということで、やり取りの中で、職員の入り口と正面玄関のところだけはカメラついているけれども、それ以外は庁舎内全然ないので、あと、届出誰にしようかということについては、これから内容を全部精査した後にならうかと、とりあえずは私が持って行ったので、議長名で物は届けたという形になっている、正式にどういう内容の届出書になるかはこれからということで、その時にまた協議する形になっている。その他なければ、本日の全員協議会を終了する。

【閉会 14：29】